

「第 24 回 大都市制度協議会」を傍聴する



写真は大阪府庁の正面玄関。大阪市役所はよく出かけるが、大阪府庁は久しぶりだ。ここで、「第 24 回 大都市制度（特別区設置）協議会」が 21 日 13 時 30 分から開かれるからだ。府庁に早く着いたが、会場前には報道陣がたむろしていた。傍聴番号「1」をもらい時間調整した。

この協議会を傍聴するのは初めてだ。写真の委員名簿にあるように、会長の今井豊氏が挨拶したあと、各党派議員から協議会への基本スタンス、意見表明が行われた。維新の山下昌彦氏はダブル選や統一地方選で「都」構想は支持された。行政課題へステージが進み、賛成に転じた公明も含めて真摯な議論をしていく。ちょっと待ってほしい。確かに、維新は圧勝したが、「都」構想について正面から問題を提起したのか。それより脱法行為のダブル選などで、世論を喚起していた。維新の選挙チラシを見れば明らかだ。選挙に勝てば「都」構想も支持が得られたと公言。これが維新という政党なのだろう。

区分	大阪府		大阪市	
会長	今井 豊	維新		
長	吉村 洋文		松井 一郎	
議員	三田 勝久	維新	広田 和英	維新
	河崎 大樹	維新	山下 昌彦	維新
	横山 英幸	維新	守島 正	維新
	紀田 馨	維新	藤田 あきら	維新
	杉本 太平	自民	北野 妙子	自民
	原田 亮	自民	川嶋 広穂	自民
	肥後 洋一朗	公明	西崎 照明	公明
	中村 広美	公明	山田 正和	公明
			山中 智子	共産

自民の川嶋広穂氏は、住民投票に向けて是々非々で議論に努めると述べ、大都市制度改革に関わる法の論点に即し、問題提起していくと。注目されたのが、公明の西崎照明氏の意見である。選挙で「都」構想への民意が示され、賛成の立場から制度案の問題を提起する。住民サービスの維持や特別区設置のコストを最小限にしていくなどと述べた。公明党に問いたい。維新に国政選挙のことで「恫喝」され、「都」構想への態度を豹変したが、これまで主張してきた「総合区」構想はどうしたのか。それを撤回するという説明ぐらいあると思っていたが、何も触れられなかった。あとから事務局が今後「特別区」にしぼって議論していくと説明しただけだ。「総合区」特集の広報が、自宅に何回も届けられるなど、かなりの経費だと思う。どうしても納得できない。

さいごに、共産の山中智子氏が大阪市をなくす「都」構想と住民投票に反対する、と明確に述べた。それに対して、今井会長が協議会での委員の役割などに関連つけて、「都」構想反対の意見表明に異論を投げかけた。この協議会のスタンスを問うものであったが、そのまま議事が進行した。はじめに「都」構想ありきの進め方に強い違和感を覚えたのだが。今後の進め方について提案があり、松井市長が特別区移行のコストだけでなく、財政効果についても専門家の報告を含め、議論する必要があると指摘した。今後の議論に影響する発言であるが、議会では財政・経済効果なるものに批判が多かった。

今回初めて協議会を傍聴して、「都」構想なるものの議論や雰囲気がよく分かった。分厚い資料も手にすることができ、じっくり読んでいきたい。やはり傍聴すると、「都」構想、大阪市潰しに対する怒りの気持ちが、だんだんと膨張してくる。

(2019年6月22日)